

明日 合唱コンクール

成長・貢献・感謝

いよいよ明日、24日(木)合唱コンクールが開催されます。会場は名護市民会館大ホール。生徒の登校は8時30分までに現地集合、弁当・水筒持参です。午前中はリハーサル。午後1時からコンクール開始です。保護者の参加は、午後1時からお願いいたします。保護者席を1階両サイド側に準備しています。校外行事中の下校安全確保のため、合唱コンクールが終わりましたら、保護者の方でお子さんの帰りの送迎もよろしくお願いいたします。



- 当日の日程
- 8:30 集合・整列
(名護市民会館中庭)
 - 8:40 大ホール入場
(リュックはロビーに)
 - 9:05 諸注意
 - 9:50 リハーサル開始
 - 11:30 昼食(学級単位)
 - 12:30 大ホール入場・準備
 - 13:00 開会式
 - 13:10 コンクール(実演)
 - 14:40 休憩・アトラクション
 - 15:20 閉会式
 - 15:40 帰りの会、下校
- ※必ず保護者で迎えて下さい。



羽地中学校
学校だより117号
R1. 10. 23

読書月間お勧めの本



読書月間、普段の生活に飽きてきたら、迷わず物語の世界に没頭しよう、ゲームのように。そして、素敵な言葉や格好いいフレーズを使ってみようじゃないか

屋上のテロリスト
知念実希人

「ミサイルでも降ってこないかな。」滝山高校生の酒井彰人は、休日の日の5階建ての校舎の屋上から飛び降りる前に、ぼんやりと考えていた。一九四五年八月十五日、ポツダム宣言を受諾しなかった日本はその後、広島・長崎に続き、新潟にも原爆を落とされ、今やひとつの日本は消滅し、西日本共和国と東日本連邦皇国に分割されてしまった。

影人は、学校の屋上で会った不思議な高校生・紗希の誘いに乗り、壮大なテロ計画に巻き込まれていく。彼女の練りに練られた計画に、大人達が翻弄されて、たじたじになる様子が痛快です。スピード感溢れる鮮やかな展開、待ち受ける衝撃と感動のラスト。世界をひっくり返す、超傑作エンターテインメントです。映画化してほしい小説の一つ。図書館に文庫本をおいています。



朝が来る
辻村深月

長く辛い不妊治療の末、特別養子縁組という手段を選んだ栗原清和・佐都子夫婦。

民間団体「ペーパーバトン」の仲介で男子を授かり、初めて抱っこしたとき、「恋におちるように」と聞いた、あの表現とは少し違うけれど、「朝が来た」と佐都子のはっきり思った。長くて暗いトンネルをようやく抜けて、朝がやってきた。この子はうちに朝を運んできた。だから「朝斗」と名付けたのだ。

我が子はやがて幼稚園に通うまでに成長し、平穏な日々を過ごしていた家族に、ある日、電話が鳴る。「子どもを返してほしい。私が産んだ子どもを・・・」

『かがみの孤城』で第15回本屋大賞を受賞した著者が、不妊治療に悩む夫婦と養子縁組という新たな親子の在り方を通して、家族の在り方を考えさせる社会派小説です。相変わらず、辻村さんは心理描写が凄いです。佐都子のような闘う強気女子もいいね。